

令和6年度施行

積算書（見積参考）

業務名：令和6年度 札幌市バス発着施設調査検討業務

本設計書は、発注者の業務計画に基づいて作成した設計図書の一部を、見積算定の参考として掲示するもので、契約上、これを拘束するものではありません。

札幌市まちづくり政策局総合交通計画部

業 務 名 令和6年度 札幌市バス発着施設調査検討業務

総委託費 \_\_\_\_\_ 円

一 金 内 訳 { 委託費 \_\_\_\_\_ 円  
消費税等相当額 \_\_\_\_\_ 円

## 業 務 説 明

### 1. 業務の目的

本業務は、バス発着施設の利用実態等を整理し、札幌市の関連計画や他都市事例も踏まえ、将来的な施設の在り方等を検討する

### 2. 業務の概要

- 利用実態の整理
- 将来的な施設形態の検討
- 代表駅におけるケーススタディ
- 報告書作成

### 3. 仕様書・要領

別紙「仕様書」による

### 4. 業務の期間

契約締結の日から、令和7年3月19日までとする。

令和6年度 札幌市バス発着施設調査検討業務

一金 円

内 訳

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接人件費					
1 利用実態の整理	式	1			単算1
2 将来的な施設形態の検討	式	1			単算2
3 代表駅におけるケーススタディ					
ア 円山バスターミナル					
(ア) バスターミナル施設に係る基準等の整理	式	1			単算3
(イ) 改修内容に係る検討	式	1			単算4
(ウ) その他(現施設で受入可能な最大バス発着便数の試算、将来的に建替案の検討)	式	1			単算5
イ バス発着施設(2施設)の更新検討	式	1			単算6
4 報告書作成	式	1			単算7
5 打合せ	式	1			単算8
直接人件費計					
直接経費 (電子成果品作成費)	式	1			$5.1 \times (\text{直人})^{0.38}$
その他原価	式	1			$\text{直人} \times (\alpha \div (1 - \alpha))$ $\alpha = 35\%, \alpha \div (1 - \alpha) = 53.85\%$
業務原価計					
一般管理費	式	1			$\text{業務原価} \times (\beta \div (1 - \beta))$ $\beta = 35\%, \beta \div (1 - \beta) = 53.85\%$
検討調査業務 計					
再計					
消費税等相当額	式	1			10%
業務委託費					

札幌市

単 価 算 出 調 書

NO	細 目	単位	単 価	積算の基礎				適用		
1	1 利用実態の整理	式		技師長	0.0 人	×	円/人	=	円	見積
				主任技師	0.6 人	×	円/人	=	円	
				技師 (A)	0.9 人	×	円/人	=	円	
				技師 (B)	4.0 人	×	円/人	=	円	
				技師 (C)	5.0 人	×	円/人	=	円	
				技術員	17.8 人	×	円/人	=	円	
				計					円	
2	2 将来的な施設形態の検討	式		技師長	0.0 人	×	円/人	=	円	見積
				主任技師	1.4 人	×	円/人	=	円	
				技師 (A)	2.0 人	×	円/人	=	円	
				技師 (B)	4.4 人	×	円/人	=	円	
				技師 (C)	4.9 人	×	円/人	=	円	
				技術員	5.0 人	×	円/人	=	円	
				計					円	
3	3 代表駅におけるケーススタディ ア 円山バスターミナル (ア) バスターミナル施設に係る基準等の整理	式		技師長	0.0 人	×	円/人	=	円	見積
				主任技師	1.1 人	×	円/人	=	円	
				技師 (A)	1.0 人	×	円/人	=	円	
				技師 (B)	2.9 人	×	円/人	=	円	
				技師 (C)	3.4 人	×	円/人	=	円	
				技術員	1.0 人	×	円/人	=	円	
				計					円	
4	3 代表駅におけるケーススタディ ア 円山バスターミナル (イ) 改修内容に係る検討	式		技師長	0.0 人	×	円/人	=	円	見積
				主任技師	1.3 人	×	円/人	=	円	
				技師 (A)	1.5 人	×	円/人	=	円	
				技師 (B)	3.1 人	×	円/人	=	円	
				技師 (C)	3.6 人	×	円/人	=	円	
				技術員	4.4 人	×	円/人	=	円	
				計					円	
5	3 代表駅におけるケーススタディ ア 円山バスターミナル (ウ) その他(現施設で受入可能な最大バス発着便数の試算、将来的に建替案の検討)	式		技師長	0.0 人	×	円/人	=	円	見積
				主任技師	0.9 人	×	円/人	=	円	
				技師 (A)	1.8 人	×	円/人	=	円	
				技師 (B)	4.1 人	×	円/人	=	円	
				技師 (C)	5.6 人	×	円/人	=	円	
				技術員	7.8 人	×	円/人	=	円	
				計					円	

単 価 算 出 調 書

NO	細 目	単 位	単 価	積算の基礎				適 用		
6	3 代表駅におけるケーススタディ イ バス発着施設(2施設)の更新検討	式		技師長	0.0 人	×	円/人	=	円	見積
				主任技師	2.0 人	×	円/人	=	円	
				技師(A)	2.4 人	×	円/人	=	円	
				技師(B)	6.6 人	×	円/人	=	円	
				技師(C)	8.5 人	×	円/人	=	円	
				技術員	10.8 人	×	円/人	=	円	
							計		円	
7	報告書作成	式		技師長	0.0 人	×	円/人	=	円	見積
				主任技師	1.0 人	×	円/人	=	円	
				技師(A)	1.3 人	×	円/人	=	円	
				技師(B)	1.8 人	×	円/人	=	円	
				技師(C)	2.5 人	×	円/人	=	円	
				技術員	2.3 人	×	円/人	=	円	
							計		円	
8	打合せ	式		技師長	0.0 人	×	円/人	=	円	土木設計業務等標準歩掛 p3-2-1
				主任技師	2.5 人	×	円/人	=	円	
				技師(A)	2.5 人	×	円/人	=	円	
				技師(B)	2.5 人	×	円/人	=	円	
				技師(C)	0.0 人	×	円/人	=	円	
				技術員	0.0 人	×	円/人	=	円	
							計		円	

札 幌 市